



鶴見区民会議は、誰でも自由に参加できる話し合いの場です。話し合いから、うらおいがあり、心安らぎ、また活力のある地域社会づくりのアイデアが生まれます。

編集発行 鶴見まちづくり推進会議  
承認 鶴見区 第1号

# 元気な子どもを育てる 鶴見の地域力 ～次はあなたの出番です～

平成23年6月28日（火）に鶴見公会堂で区民大会・区民会議を開催しました。

今年度の区民会議のテーマは「元気な子どもを育てる 鶴見の地域力～次はあなたの出番です～」です。今の社会では、「地域でのつながり」が少なくなっています。電車やバスの中で、大人が子どもたちに声をかけるといった光景も目にすることが少ないように感じます。子どもたちが健やかに育つように見守っていくのは地域の役目です。私たち地域の力で何が出来るかを一緒に考えていきましょう。

## ★<sup>もりほ</sup>広岡 守穂氏の講演「～これからの子育て～人に優しい地域づくり、街づくり」

地域が子育てと関わっていくことの重要性を、ご自身の経験に基づく様々なエピソードを交えてお話しくださいました。

子は地域のかすがい、地域の宝です。

核家族化が進み、子育てに母親が奮闘する今、先輩である地域の人たちから手を差し伸べることが求められています。

子育てに、地域からの優しいまなざしや温かい声かけをしてあげることが大切です。

子どもを育てることだけでなく、母親の「自分育て」のために、みんなが子育てを理解し、地域で支援することがとても重要です。

明日を担う子どもたちに、いつまでも輝く思い出を与えることができるのは、地域の人々です。



### 広岡 守穂氏のプロフィール

1951年、石川県生まれ。東京大学法学部卒業。専攻は政治学だが、現代日本の社会現象に幅広く関心を持ち、最近では男女共同参画、NPO、高齢者福祉に目を向けている。中学の同級生と学生結婚し、5人の子どもが生まれた。その経験から、妻の「自分育て」を夫がささえることの大切さを痛感。1991年ベストメン賞受賞。佐賀県立女性センター館長、内閣府男女共同参画会議専門部会委員、神奈川県次世代育成支援対策協議会委員などを歴任。

### ☆こんな感想がありました。（アンケート内容から）

- ・子育て中のお話に「うん、うん」と思うお話ばかりでした。とてもわかりやすく共感できました。
- ・子どもへのダイヤモンドは親は与えられない、先生、先輩、地域の人が与えるものという意見に感じ入る。
- ・子どもが成長していく中で、親自身の「自分育て」が大切なんではないかと思いました。
- ・とてもよかったですので、若い今子育てしているご夫婦に聞かせたいと思いました。

## ★区民大会 功労賞表彰

今年度もさまざまな分野で顕著な功績のあった方々が表彰されました。

### 《鶴見まちづくり功労賞受賞者》

※カッコ内は受賞内容

渡辺 徳雄	(花と緑・美化清掃)
稲葉 照男	(花と緑・美化清掃)
原田 文夫	(花と緑・美化清掃)
杉原 貞昭	(地域活動)
浦川 柳介	(魅力アップ)
浦田 真理子	(魅力アップ)
橋本 辰四郎	(魅力アップ)
矢向小学校学援隊	(環境保全・地域活動)



(順不同・敬称略)

## ★区民大会・区民会議で行った会場アンケートの結果

当日参加者 222 人のうち 160 人 (全体の 72.1%) の方がアンケートにご協力くださいました。今回は、30代～80代の方まで、幅広い世代の方がご参加くださいました。

「あなたは地域で子どもと関わっていますか」については、はい 83.8%、いいえ 11.3%でした。はいと答えた方は、「町内会の役員として(59.0%)」、「登下校の見守り(22.4%)」、「子ども会や青少年指導員などの地域の役員として(14.2%)」、その他、「昔遊びやゲームの指導者として」、「スポーツの指導者・スタッフとして」などと答えています。子どもと関わっている時間は、「毎月 1 回(23.9%)」、「毎週 1~2 回(20.9%)」、「時間があれば毎日でも(19.4%)」、「年 1 回位(13.4%)」でした。

子どもと関わっていないと答えた方への、「今後地域の子供と関わるなら、どのような事が考えられますか」との問いには、「町内会の役員として役を任されたらかかわる(44.4%)」、「子どもの集まる場所で話し相手や見守りをする(38.9%)」、「スポーツ・ダンス・音楽など自分の特技を活かして指導者としてかかわる(16.7%)」、などの回答がありました。子どもと関わるとしたら、対応できる時間は、「年 1 回くらい (お祭りなど) (38.9%)」、「毎月 1 回(27.8%)」、「毎週 1~2 回(16.7%)」、「時間があれば毎日でも (11.1%)」という結果でした。

また、防災意識についておたずねしました。「震災後、家族で災害時の対応について具体的な話をしましたか」については、はい 85.0%、いいえ 6.9%、「地域防災拠点の防災訓練に参加したことはありますか」については、はい 70.6%、いいえ 25.0%、「今後参加してみたいと思いますか」については、はい 72.5%、いいえ 3.1%でした。防災について一番不安なこととしては、避難ルートや避難所について (14 名)、防災訓練どおりに行動できるかやいざというときに行動できるか (12 名)、災害時に家族と連絡がとれなくなること (12 名)、津波 (10 名)、火災 (8 名) などのご意見がありました。

## <平成 23 年度 第 2 回鶴見区民会議のお知らせ>

子どもがのびのびと成長できる環境を整えるために地域や家庭で何ができるか、分科会に分かれて話し合います

日時：11月10日(木)午後1時30分～3時30分(予定)

会場：鶴見公会堂(豊岡町2-1 フーガ16階)

分科会テーマ ①地域でできる子育て支援  
②子どもと学校、そして地域力  
③子どもと地域の防災

一時保育、手話通訳あり

申込みは10月25日(火)まで

誰でも自由に参加できます。ファクスや電子メールでもご意見を募集しています。

◆ご意見送付先◆ 鶴見区役所広報相談係 〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-20-1

電話：510-1680 FAX：510-1891 電子メール：tr-kuminkaigi@city.yokohama.jp